

loco mail

ロコメール vol.2 2012/9/25

～いつも大変お世話になっております～

最近、仕様書で注意喚起している部分のミスや、明記されている内容のお問い合わせなど、仕様書がきちんと活用されていないように感じるケースが見受けられます。

仕様書は説明時のみの補助的なプリントではありません！

☆作業開始前には仕様書などで手順や注意事項の確認をすることを習慣にしましょう。曖昧な感覚はNGです。

☆仕様書は捨てないで下さい。半年後など、期間を開けて同じ作業をする場合や、類似作業時に注意点の参考になるなど、納品後も活用する機会が多数あります。ミスをした時には仕様書に書き込むことで、次回作業時により一層注意出来ます。

☆仕様書の有無に関わらず、指定の手順は[オススメ]では無く、[厳守]となります。様々な理由を元に作業効率と確実性の両立を目的として指定していますので、小さなことでも自己流にしないで下さい。変更したい時には事前に確認して下さい。

10月の休業日

7/8/14/20/21/28

※現時点での予定となるため、各種作業や配送の状況に応じて変更となる場合があります。

<あたりまえ>

弊社の全作業共通のモットーは

【あたりまえのことを、あたりまえにこなす】

ということです。このモットー自体があたりまえな内容ですが、これは最も簡単な取り組みでありながら、同時に最も徹底が難しい事柄です。

登録時の面接で、過去の失敗例など様々な事例をお話すると、殆どの方が「えっ、本当にそんなことをする人がいるんですか!？」「それは当然ダメですよね・・・」といった反応を示して下さいます。

例えば、1箱50枚入りの商品は1箱50枚入りにして納品するべきで、49枚の箱があつたり51枚の箱があつたりしては当然ダメです。このことを客観的事実として見れば、10人中10人があたりまえだと思うはずで

しかしながら実際の作業の中では、1000枚、2000枚と総数が多かったり、或いは短期間での作業であつたりなど、様々な要因から[ついつい]が発生してしまう可能性が誰しもにあり得るのが、[人の手による作業]の危険性なのです。

員数に限らず、髪の毛など異物の混入や上下左右表裏の間違い、明らかな不良の見落とし、など、基本中の基本の事柄は、全員があたりまえのこととして注意して作業をしているはず、にも関わらず、全体としてはなかなか無くならないミスなのです。

従って【あたりまえのことを、あたりまえにこなす】ことは、最も簡単で、同時に最も難しい、永遠の課題だと言えます。そして、特に重要なのはそれを常に意識して事故発生率0%の達成を諦めないことです。仕方がない、と妥協した時点で、成長は無くなってしまいます。

よって弊社では常に、従業員一同の意識の徹底もさることながら、内職作業者の皆さんの1人1人意識の徹底もしていきたいと考えております。